

令和6年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

夢をかたちに（Scale up your Dream, and Build up your Future.） 生徒が自らの進路に夢や希望を抱き、高い志を持ってその実現に向けて必要な力を身に付けるとともに、地域社会に積極的に参画し貢献できる人材を育成する学校をめざす。 【生徒に育みたい力】 日根野高等学校 校訓「自立・共生・友愛」 1 主体的に考え行動することで、変化する社会に対応し、地域社会の発展に貢献できる力。[自立] 2 一人ひとりの多様性を理解し、人それぞれの違いを自然に受け入れ、支えあい、互いに認めあう社会を実現する力 。[共生] 3 周りの人に対して思いやりの情を持ち、基本的人権を尊重し社会に奉仕貢献できる力。[友愛]
--

2 中期的目標

1. 授業改善を行い「確かな学力」を育成し、生徒の進路実現をめざす （1）主体的・対話的で深い学びを探究し、「発想力」「課題解決能力」「主体的に学ぶ力」を育成する授業の実現をめざして授業力の向上に取り組む。 ア、教員間の相互授業観察や研究授業を推奨し、授業アンケートを活用した振り返りを丁寧に行い、授業力向上に取り組む。 イ、ICT 機器を効果的に活用し、生徒個々の能力に応じた最適な学びを提供する。 ウ、授業における生徒の言語活動を活性化し、主体的で対話的な学びを提供し、学びの深化をめざす。 ※授業アンケート総合スコア(令和8年度には3.3以上（R3 第1回3.25 第2回3.22、R4 第1回3.29 第2回3.31、R5 第1回3.41 第2回3.42)を維持する) ※生徒向け学校教育自己診断「ICT を活用した授業への満足度」（令和8年度には85%以上(R3 80%、R4 84%、R5 84%)とする) ※授業アンケート「考える時間や発表する活動を多く取り入れている」（令和8年度には3.3以上（R3 第1回3.25 第2回3.28、R4 第1回3.30 第2回3.30、R5 第1回3.34 第2回3.38)を維持する) （2）特色ある専門コースを持つ普通科高校として、コースに特化した進路実現をめざす。 ア、コースや科目選択時のガイダンスを充実させ、生徒の進路実現を適切に支援する。 イ、本校のキャリア教育「ひねのプログラム」を推進し、生徒一人ひとりの夢の実現に向けて取り組む。 ※生徒向け学校教育自己診断「コース選択・科目選択への取り組みに関する満足度」（令和8年度には85%以上(R3 86%、R4 88%、R5 85%)を維持する) ※看護・医療系進学者数(令和8年度には20%以上(R3 24%、R4 24%、R5 22%)を維持する) ※幼児教育・保育系進学者数(令和8年度には5%以上(R3 4%、R4 6%、R5 7%)を維持する) ※国公立大学・難関私立大学（関関同立・産近甲龍）進学者数(令和8年度には10%以上(R3 6%、R4 3%、R5 6%)とする) （3）生徒一人ひとりに対して丁寧で細やかな指導を行い、夢の実現を支援し、生徒・保護者の満足度を向上させる。 ア、志学・道徳教育・人権教育・キャリア教育・進路指導を系統的に結合したキャリア教育「ひねのプログラム」を活用し、生徒の能力を伸ばす。 イ、分野別進路説明会を開催するとともに、進路に特化した専門学校等の講師を積極的に招聘し、講習、講話の機会を確保し、進路の実現を支援する。 ウ、魅力ある教育活動や進路実現を提供し、もっと入りたい学校の実現をめざす。また、広報活動を積極的に行い、入学志願者を確保する。 ※生徒向け学校教育自己診断「将来の進路や生き方をよく考える機会がある」（令和8年度には90%以上(R3 89%、R4 94%、R5 91%)を維持する) ※入試志願者倍率(令和8年度には1.15倍以上(R3 1.23倍、R4 1.19倍、R5 1.09倍)を維持する) 2. 豊かでたくましい人間性をはぐくむ （1）人権・多様性を尊重する教育を推進し、差別やいじめを許さない意識、なくす実践力を育てる。 ア、「大阪府いじめ防止基本方針」に従い、全校でいじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組む。 イ、障がい者・女性・子ども・同和問題・在日外国人・性的マイノリティ等様々な人権に関わる問題の解決をめざした教育を推進する。 ウ、教科「情報」の授業やHR等を通して情報モラル教育を推進し、情報社会における正しい判断や望ましい態度を育てる。 エ、社会性にも繋がる生活習慣の確立、挨拶の励行、他者を思いやる心の育成、善悪の判断ができる意志の育成等を図る。 ※生徒向け学校教育自己診断「いじめについて困っていることがあれば真剣に対応」（令和8年度には85%以上（R3 85%、R4 89%、R5 87%）を維持する) ※生徒向け学校教育自己診断「命の大切さや社会のルールを学ぶ機会」（令和8年度には85%以上（R3 80%、R4 81% R5 80%）とする) ※のべ遅刻者数/4-12月（令和8年度には3,000人以下(R3 2,882人、R4 3,632人、R5 4,398人)とする) （2）部活動、学校行事、ボランティア活動等への参加を通して、生徒の自己肯定感を高め、互いに認め合い協力しあう生徒を育成する。 ア、部活動、学校行事を活性化し、生徒が自主的に活動、運営することにより、自己肯定感を高め、互いに認め合い協力しあう生徒を育てる。 イ、地域と連携し、生徒の発信・発表の場を多く設けることで、社会の一員としての自信と自覚を深め、社会貢献の意義と尊さを理解させる。 ウ、生徒の自主性・自律性を尊重し、生徒会活動等を通して生徒の主体性を育て、自己実現を図る力を育成する。 ※部活動加入率（令和8年度には60%以上(R3 62%、R4 55%、R5 45%)とする) ※生徒向け学校教育自己診断「学校行事は楽しく行えるように工夫されている」（令和8年度には85%以上(R3 88%、R4 88% R5 82%)を維持する) ※生徒向け学校教育自己診断「先生の指導は納得できる」（令和8年度には80%以上(R3 73%、R4 79%、R5 74%)とする) （3）保護者・地域への情報提供を積極的に行い、保護者等の意見を教育活動に取り入れ、開かれた教育活動を推進する。 ア、保護者や地域との連携を深め、学校、保護者、地域が一体となった教育の充実を図る。 イ、多様な手段を用いた情報発信を行うとともに、情報収集を積極的に行い、意見を反映した学校経営を行う。 ※保護者向け学校教育自己診断「保護者の相談に適切に対応してくれた」（令和8年度には85%以上(R3 88%、R4 91%、R5 86%)を維持する) ※保護者向け学校教育自己診断「教育情報についての提供努力満足度」（令和8年度には90%以上(R3 93%、R4 91%、R5 89%)を維持する) 3. 安全で安心な学び場を作るとともに、働き方改革を実現する （1）障がいのある生徒への理解を深め、SC との連携を図りながら合理的配慮や自立の支援を行う体制づくりを行う。 ア、支援を要する生徒について個別の支援計画を作成し、生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、効果的な指導、支援の充実を図る。 （2）生徒が相談しやすい環境を整備し、関係機関と連携を深めながら、生徒支援体制の充実を図る。 ア、体罰やハラスメント・インターネットトラブル等に関する相談体制を整備し、生徒に寄り添う学校づくりを進める。 ※生徒向け学校教育自己診断「担任以外にも気軽に相談することができる先生がいる」（令和8年度には75%以上(R3 66%、R4 77%、R5 77%)を維持する) （3）危機管理を徹底し、安全で安心な学び場づくりを推進する。 ア、講習会や研修を定期的 to 実施し、感染症、薬物中毒、食中毒等の予防や防止、熱中症や食物アレルギー等による事故防止に取り組む。 イ、地震や台風などの自然災害に備えた体制を充実させ、避難訓練の実施等を通して防災教育に取り組む。 （4）教員の働き方改革に取り組む。 ア、業務の電子化を進め、事務作業量を軽減するとともに、会議の精選、会議時間の短縮を行い、校務運営の効率化に取り組む。 イ、全校一斉退庁日の取り組み等を推進し、教職員の時間外在校時間の縮減を図る。 ※「学校ストレスの総合リスク値」（令和8年度には95以下(R3 85、R4 87、R5 84)を維持する) ※年間「時間外在校等時間」の平均（令和8年度には30時間以下（R3 33時間、R4 33時間 R5 29時間）を維持する)
--

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和6年12月実施分]					学校運営協議会からの意見				
1. 回答者					対象	生徒	保護者	教員	
					提出数／対象者	624／704	385／704	46／46	
					回答率	88.6%	54.7%	100%	
2. 実施時期 令和6年12月					第1回学校運営協議会（5月24日開催） 質問：人権教育や、豊かな人間性を育てるためにどのような取り組みをしているのか。 回答：情報モラルや LGBTQ＋、就職差別に関して、教科外で行っており、探究的な活動を増やしている。 質問：部活動の加入率の低下について今後どのような取り組みをするのか。部活動の場は上下関係であったり、貴重な学びの場になったりしていて、生徒が加入していないのが勿体ない。 回答：4月に新入生部活動体験を実施している。その中で色々な経験をさせている。また、ビラ配りなどで勧誘などもおこなっている。 質問：今年の1年の雰囲気はどうか。 回答：タフな感じで落ち着いている。 質問：日根野高校の不登校の対応は。 回答：体調の悪い生徒や長欠の生徒については、クラスルーム（配信）で対応。また、理由が分からない不登校も多く、支援委員会が対策したり、外部機関とも連携したりしている。 意見：南海福祉専門学校等の看護ケアリングと連携できないか。例えば、大学の行事に参加するなど。そうすることで生徒の悩みも聞けるかもしれない。				
3. 実施方法 フォーム作成ツール（Web）回答									
令和6年度学校教育自己診断（生徒）					6年度 肯定回答	増減	5年度 肯定回答		
1	学校に行くのが楽しい				89.7%	11.6%	78.1%		
2	学校生活についての先生の指導は納得できる				79.8%	5.9%	73.9%		
3	自分の将来の進路や生き方について、よく考える機会がある（あった）				92.3%	1.3%	91.0%		
4	コース・科目選択をする上で学校での取り組みは役に立った				90.9%	6.4%	84.5%		
5	ICT（情報通信技術）を活用し、わかりやすい授業が行われている				93.9%	10.4%	83.5%		
6	日根野高校は、1人1台端末を効果的に活用している				89.7%	10.0%	79.7%		
7	先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる				94.1%	7.2%	86.9%		
8	担任の先生以外にも気軽に相談することができる先生がいる				82.9%	6.4%	76.5%		
9	日根野高校で、命の大切さや社会のルールを学ぶ機会があった				90.1%	9.7%	80.4%		
10	学校行事（文化祭、体育祭、校外学習など）は、楽しく行えるように工夫されている				89.9%	8.0%	81.9%		
11	日根野高校に入学してよかった				92.5%	2.6%	89.9%		
総合的評価（全項目平均）					89.6%	7.2%	82.4%		
令和6年度学校教育自己診断（保護者）					6年度 肯定回答	増減	5年度 肯定回答		
1	お子さんは、学校に行くのが楽しいと言っている。またはそう感じられる				86.8%	2.0%	84.8%		
2	お子さんは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。またはそう感じられる				65.7%	5.1%	60.6%		
3	日根野高校の先生は、保護者の相談に適切に対応してくれた。				89.9%	4.3%	85.6%		
4	日根野高校の生活指導（遅刻・携帯・制服・頭髮など）には共感できる				81.3%	-1.5%	82.8%		
5	日根野高校では、お子さんの将来の進路や職業などについて適切な指導が行われている				91.2%	1.5%	89.7%		
6	日根野高校は、お子さんに対して「命を大切にすること」や「社会ルールを守る態度」を育てようとしている				86.8%	2.9%	83.9%		
7	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる				85.2%	0.7%	84.5%		
8	保護者懇談以外の授業参観や学校行事、説明会等のために、日根野高校に行ったことがある				61.0%	-1.4%	62.4%		
9	日根野高校は、教育情報について、提供の努力をしている				85.5%	-3.3%	88.8%		
10	お子さんを日根野高校に入学させてよかった				95.1%	3.4%	91.7%		
総合的評価（全項目平均） ※項目「8」を除く					85.3%	1.7%	83.6%		
令和6年度学校教育自己診断（教職員）					6年度 肯定回答	増減	5年度 肯定回答		
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている				82.6%	-8.9%	91.5%		
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている				73.9%	-9.1%	83.0%		
3	カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている				80.4%	-2.6%	83.0%		
4	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる				89.1%	-8.8%	97.9%		
5	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる				93.5%	-0.1%	93.6%		
6	生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている				84.8%	12.5%	72.3%		
7	生徒一人ひとりが興味・関心や適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている				84.8%	-4.6%	89.4%		
8	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている				73.9%	-13.3%	87.2%		
9	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている				87.0%	-6.6%	93.6%		
総合的評価（全項目平均）					83.3%	-4.6%	87.9%		
【総論】（◎）									
・生徒評価は、すべての項目で改善が見られた。学校全体の取り組みが評価され、生徒の満足度や信頼が確実に向上している。									
・保護者評価は、授業や教師対応で大きな改善が見られ、全体的に高評価を維持。生徒指導などの課題解決でさらに信頼向上をめざす。									
・教職員評価は、多くの項目で低下した。しかし、全体としては依然高い評価。									
【総合的な項目について】（◎）									
・登校満足度（生徒・保護者項目1）、入学満足度（生徒項目11、保護者項目10）ともに、向上している。どちらも非常に高い評価を得ることができている。									
【学習指導について】（◎）									
・生徒評価は、項目5と6で10%以上の向上が見られ、極めて高い評価となっている。									
・保護者評価は、項目2で5.1%向上している。									
・本校の授業改善の取り組みは、非常に高く評価をされている。									
【生徒指導について】（○）									
・生徒評価は、項目2で5.9%上昇し、一方保護者評価では、1.5%の低下がみられる。									
・生徒との対話を軸にした指導は、生徒からは評価が向上し、保護者からはその是非が分かれる評価となっている。									
【進路指導について】（◎）									
・生徒評価は、項目3と4で上昇し、90%を超え、非常に高い評価となっている。									
・保護者評価も、項目5で1.5%向上し、90%を超え、非常に高い評価を得ている。									
【教育相談について】（◎）									
・生徒評価は、項目8で6.4%向上をし、この設問としては極めて高い評価となっている。									
・保護者評価も、項目3で4.3%向上し、9割が肯定的評価であり、とても高い。									
【行事、情報発信などについて】（○）									
・行事に対する生徒評価は、項目10で8.0%向上し、89.9%と非常に高くなっている。									
・情報発信に対する保護者評価は、項目9で3.3%低下し、85.5%となったが、依然高い評価を維持できている。									

第1回学校運営協議会（5月24日開催） 質問：人権教育や、豊かな人間性を育てるためにどのような取り組みをしているのか。 回答：情報モラルや LGBTQ＋、就職差別に関して、教科外で行っており、探究的な活動を増やしている。 質問：部活動の加入率の低下について今後どのような取り組みをするのか。部活動の場は上下関係であったり、貴重な学びの場になったりしていて、生徒が加入していないのが勿体ない。 回答：4月に新入生部活動体験を実施している。その中で色々な経験をさせている。また、ビラ配りなどで勧誘などもおこなっている。 質問：今年の1年の雰囲気はどうか。 回答：タフな感じで落ち着いている。 質問：日根野高校の不登校の対応は。 回答：体調の悪い生徒や長欠の生徒については、クラスルーム（配信）で対応。また、理由が分からない不登校も多く、支援委員会が対策したり、外部機関とも連携したりしている。 意見：南海福祉専門学校等の看護ケアリングと連携できないか。例えば、大学の行事に参加するなど。そうすることで生徒の悩みも聞けるかもしれない。
第2回学校運営協議会（10月18日開催） 質問：中学生に対してどのようなフォローをおこなっているのか。 回答：11月2日の午後からオープンスクールを実施した。また、学校合同説明会においてブース形式で中学生や保護者の方への説明を行っている。個別に来校していただいた際の対応も行っている。 質問：遅刻数は月でどれくらい減っているのか。真面目にしている生徒に迷惑がかかっていないか。また、どうしても遅刻するときはあるのではないかと。 回答：今年度は900件ほど。月に4回以上の遅刻は早朝登校指導、遅刻理由確認書を帰宅前に提出するという指導で、減ってきている。厳しく指導すると遅刻を減らす事はできるが、欠席数が増える。遅刻多いのは特定の生徒であり、家庭連絡をしたら遅刻は少し減っているというイメージはある。 質問：近隣の商業施設の駐輪場で、日根野の高校生が原付バイクに乗るために着替えているのを見かけた。その対応はどうしたらよいか。 回答：学校側で対応する。適宜、指導にも行っている。 質問：踏切での遅刻に対してなにか企業にお願いしているか。高架橋を作ってほしいという要望をだすのがいいのでは。 回答：お願いしていない。ダイヤの乱れによる、踏切が理由での遅刻は、申告をすれば遅刻にはしていない。 意見：看護系の学校（大学、専門学校）は遅刻と欠席の数をよく見ている。生徒に伝えてほしい。 回答：早速伝えます。
第3回学校運営協議会（1月17日開催） 質問：学校教育自己診断について、R4上昇、R5低下、R6上昇となっている。各年度での上下の現象には理由があるか。 回答：各年度で見ると上下しているが、長期的に見ると上下しながらも右肩上がりとなっている。各年度の上下の理由は分からない。 質問：日根野高校のライバル校といえる学校はどこか。それらの学校のアンケート結果はどうか。 回答：久米田、佐野、高石などが考えられる。それらの高校と比較しても本校はおおむね良好な結果がでている。 質問：大阪市内の学校では、今年の1年生は大変な生徒が多いと聞いているが、日根野高校ではどうか。 回答：日根野高校では、部活動的の加入人数も増え、また出席率も良好である。学力はわずかな低下はあるが取り組む姿勢はよく、真面目ではあり、授業はやりやすい。学校教育自己診断の結果は1年生が最もよく、日根野を第一志望にしている生徒が多く入学したと考えられる。また、保健室の利用状況も減少傾向にある。 質問：転退学者については、昨年度と比較してどうか。 回答：現在は3名。年度末に2桁まではいく可能性もある。 質問：どのような生徒が転退学になっているか。 回答：学校に馴染めず、友人関係がうまくいかない生徒が多いように思う。通信制への直接入学者も増加しており、高校自体のあり方にも変容があるのではないかとと思う。 質問：残業時間について良好な結果と見られるが理由はあるか。 回答：定時退庁日などの効果もあってか、早く帰ることを悪とする雰囲気が無くなっていることも影響していると思われる。 質問：少し減っているとのことだが、遅刻数は依然多い。学校在学中は遅刻がある程度許されているだろうが、社会に出れば困るのではないだろうか。 回答：今年度も遅刻者を減らすための様々な取り組みは行った。次年度も取り組んでいきたい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R 5 年度値]	自己評価
1. 授業改善を行い「確かな学力」を育成し、進路の実現をめざす	(1) 主体的・対話的で深い学びを探究し、「発想力」「課題解決能力」「主体的に学ぶ力」を育成する授業の実現をめざして授業力の向上に取り組む	ア、教員間の相互授業観察や研究授業を推奨し、授業アンケートを活用した振り返りを丁寧に行い、授業力向上に取り組む イ、ICT 機器を効果的に活用し、生徒個々の能力に応じた最適な学びを提供する ウ、授業における生徒の言語活動を活性化し、主体的で対話的な学びを提供し、学びの深化をめざす	ア、授業アンケート総合スコア 3.3 以上を維持[第1回 3.41 第2回 3.42] イ、生徒向け学校教育自己診断「ICT を活用した授業への満足度」85%以上[84%] ウ、授業アンケート「考える時間や発表する活動を多く取り入れている」3.3 以上を維持[第1回 3.34 第2回 3.38]	ア、授業アンケート総合スコア [第1回] 3.42 [第2回] 3.44 (◎) <u>『生徒の授業に対する評価は、目標を大きく上回った。授業改善が進んでいると評価できる』</u> イ、「ICT を活用した授業」への満足度 (93.9%) (◎) <u>『昨年より、10.4%上昇し、目標を大きく上回った。ICT を活用した授業改善が大きく進んでいると評価できる』</u> ウ、授業アンケート「考える時間や発表する活動」[第1回] 3.36 [第2回] 3.39 (◎) <u>『主体的・対話的な学びへの転換は順調であり、目標を大きく上回っている』</u>
	(2) 特色ある専門コースを持つ普通科高校として、コースに特化した進路実現をめざす	ア、コースや科目選択時のガイダンスを充実させ、生徒の進路実現を適切に支援する イ、本校のキャリア教育「ひねのプログラム」を推進し、生徒一人ひとりの夢の実現に向けて取り組む 「ひねのプログラム」 ・定期的に「進路意識調査」を実施し、進路に対する意識を明確化させ、知識を高める ・講師を招き、希望する進路に分かれての講話や説明会を実施する ・総合的な探究の時間を活用し、進路に関する探究活動を実施する	ア、生徒向け学校教育自己診断「コース・科目選択への取り組みに関する満足度 85%以上を維持[85%] イ、国公立・難関私立大学(関関同立・産近甲龍)の合格者数 20 名以上[15 名] ・幼児教育・保育系合格者数 10 名以上[17 名] ・看護・医療系合格者数 48 名以上[51 名] ・大学入試共通テスト受験者数 30 名以上[26 名]	ア、「コース・科目選択への取り組み」に関する満足度 (90.9%) (◎) <u>『昨年度より 6.4%向上し、目標を大きく上回った。ガイダンス等に高い評価を得ることができた』</u> イ、国公立・難関私立大学(関関同立・産近甲龍)の合格者数 (24 名) (◎) ・幼児教育・保育系合格者数 (10 名) (○) ・看護・医療系合格者数 (46 名) (△) ・大学入試共通テスト受験者数 (5 名) (△) <u>『難関私立大学の合格者数の目標達成を最大の目標として、学校を上げて取り組みを行った。結果、目標を達成することができた。その一方、その影響もあり、看護・医療系の合格者と共通テスト受験者は目標に届かなかった』</u>
	(3) 生徒一人ひとりに対して丁寧で細やかな指導を行い、夢の実現を支援し、生徒・保護者の満足度を向上させる	ア、志学・道德教育・人権教育・キャリア教育・進路指導を系統的に結合したキャリア教育「ひねのプログラム」を活用し、生徒の能力を伸ばす イ、分野別進路説明会を開催するとともに、進路に特化した専門学校等の講師を積極的に招聘し、講習、講話の機会を確保し、進路の実現を支援する ウ、魅力ある教育活動や進路実現を提供し、もっと入りたい学校の実現をめざす。また、広報活動を積極的に行い、入学志願者を確保する	ア、生徒向け学校教育自己診断「将来の進路や生き方をよく考える機会」90%以上を維持[91%] イ、外部講師による特別授業等年 30 回以上を維持 [31 回] ウ、入試志願倍率 1.15 倍以上を維持[1.09 倍]	ア、「将来の進路や生き方をよく考える機会」に関する満足度 (92.3%) (○) <u>『昨年度よりは 1.3%上昇し、目標を上回った。引き続き高い評価を得ることができている』</u> イ、外部講師による特別授業等 33 回 (○) <u>『医療・看護、保育・幼児教育に関する講師中心として、多くの講師を招聘し、目標を達成した』</u> ウ、入試志願倍率 (0.97 倍) (△) <u>『大阪府の公立高校全体の志願倍率が大きく低下する中、本校も志願者が減少し、目標には届かなかった。原因等を分析し、より効果的な広報活動を実践し、志願者の確保に努める』</u>

府立日根野高等学校

2. 豊かでたくましい人間性をほぐむ	(1) 人権・多様性を尊重する教育を推進し、差別やいじめを許さない意識、なくす実践力を育てる	ア、「大阪府いじめ防止基本方針」に従い、全校でいじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組む イ、障がい者・女性・子ども・同和問題・在日外国人・性的マイノリティ等様々な人権に関わる問題の解決をめざした教育を推進する ウ、教科「情報」の授業やHR等を通して情報モラル教育を推進し、情報社会における正しい判断や望ましい態度を育てる エ、社会性にも繋がる生活習慣の確立、挨拶の励行、他者を思いやる心の育成、善悪の判断ができる意志の育成等を図る ・「遅刻0の日」の設定や遅刻を繰り返す生徒への指導方法の見直しを行い、遅刻数の減少を図る	ア、生徒向け学校教育自己診断「いじめに真剣に対応」85%以上を維持[87%] イ、人権学習を各学年3回以上実施[1年(7回)2年(3回)3年(5回)] ウ、生徒向け学校教育自己診断「命の大切さや社会のルールを学ぶ機会があった」82%以上[80%] エ、のべ遅刻者数/4-12月 4,000人以下[4,398人]	ア、「いじめに対する対応」満足度(94.1%)(◎) <u>『昨年度より7.2%向上し、目標を大きく上回った。極めて高い満足度を示している』</u> イ、人権学習実施回数 1年(6回)2年(3回)3年(4回)(○) <u>『計画通り人権学習を実施し、目標を達成した』</u> ウ、「命の大切さ、社会のルールを学ぶ機会」に対する満足度(90.1%)(◎) <u>『昨年度より9.7%向上し、目標を大きく上回った。極めて高い満足度を示している』</u> エ、遅刻者数(4～12月) 3,419人(◎) <u>『様々な取り組みを行った結果、ここ数年続いていた増加傾向に歯止めがかかり、目標を達成することができた』</u>
	(2) 部活動、学校行事、ボランティア活動等への参加を通して、生徒の自己肯定感を高め、互いに認め合い協力しあう生徒を育成する	ア、部活動、学校行事を活性化し、生徒が自主的に活動、運営することにより、自己肯定感を高め、互いに認め合い協力しあう生徒を育てる ・「クラブ体験」を充実させ、加入率の増加を図るとともに、行事に生徒の意見を反映させ、改善を図る イ、地域と連携し、生徒の発信・発表の場を多く設けることで、社会の一員としての自信と自覚を深め、社会貢献の意義と尊さを理解させる ウ、生徒の自主性・自律性を尊重し、生徒会活動等を通して生徒の主体性を育て、自己実現を図る力を育成する	ア、部活動加入率 50%以上 [45%] ・生徒向け学校教育自己診断「学校行事は楽しく行えるように工夫されている」85%以上[82%] イ、校外での上演、展示回数 10回以上[18回] ウ、生徒向け学校教育自己診断「先生の指導は納得できる」75%以上[74%]	ア、部活動加入率 52.5%(◎) <u>『ここ数年続いていた減少傾向に歯止めがかかり、昨年度より7.3%加入率が増加し、目標を達成した』</u> ・「学校行事」に対する満足度(89.9%)(◎) <u>『昨年度より8.0%向上し、目標を達成した。極めて高い満足度といえる』</u> イ、校外での上演、展示回数 28回(◎) <u>『吹奏楽部を中心に、ダンス部、書道部、演劇部、美術部で多くの活動があり、目標を大きく上回った』</u>
	(3) 保護者・地域への情報提供を積極的に行い、保護者等の意見を教育活動に取り入れ、開かれた教育活動を推進する	ア、保護者や地域との連携を深め、学校、保護者、地域が一体となった教育の充実を図る イ、多様な手段を用いた情報発信を行うとともに、情報収集を積極的に行い、意見を反映した学校経営を行う	ア、保護者向け学校教育自己診断「相談に適切に対応」85%以上を維持[86%] イ、保護者向け学校教育自己診断「教育情報についての提供努力」満足度 90%以上[89%]	ア、保護者「相談に適切に対応」に対する満足度(89.9%)(◎) <u>『昨年度より4.3%向上し、目標を大きく上回った。極めて高い数値を維持している』</u> イ、「保護者への教育情報提供」に対する満足度(85.5%)(△) <u>『昨年度より3.3%低下し、目標値にはわずかに届かなかった。依然として高い満足度である』</u>
3. 安全で安心な学び場を作るとともに、働き方改革を実現する	(1) 障がいのある生徒への理解を深め、SCとの連携を図りながら合理的配慮や自立の支援を行う体制づくりを行う	ア、支援を要する生徒について個別の支援計画を作成し、生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、効果的な指導、支援の充実を図る	ア、転、退学者数5名以下 [17名]	ア、転、退学者数 16名 (△) <u>『コロナ禍以降、登校に課題を抱える生徒が増加をしている。今年度きめ細やかな対応で、一定の成果もあったが、年度末に多くの転、退学者を出し、目標に届かなかった。次年度、一層の取り組みを行い、目標の達成に努める』</u>
	(2) 生徒が相談しやすい環境を整備し、関係機関と連携を深めながら、生徒支援体制の充実を図る	ア、体罰やハラスメント・インターネットトラブル等に関する相談体制を整備し、生徒に寄り添う学校づくりを進める	ア、生徒向け学校教育自己診断「担任以外にも気軽に相談できる先生がいる」78%以上[77%]	ア、「担任以外にも気軽に相談できる先生がいる」に対する満足度(82.9%)(◎) <u>『昨年度から6.4%向上し、目標を大きく超えた。他校の数値と比べても、とても高い満足度を示している』</u>
	(3) 危機管理を徹底し、安全で安心な学び場づくりを推進する	ア、講習会や研修を定期的実施し、感染症、薬物中毒、食中毒等の予防や防止、熱中症や食物アレルギー等による事故防止に取り組む イ、地震や台風などの自然災害に備えた体制を充実させ、避難訓練の実施等を通して防災教育に取り組む	ア、教職員向け講習会及び生徒向け講習会を各1回以上[1回] イ、火災と地震を想定した避難訓練を各1回実施する [火災1回、地震1回]	ア、教員向け及び生徒向け講習会を1回ずつ実施(○) <u>『計画通り実施をし、目標を達成した』</u> イ、6月に火災を想定した訓練を、10月に地震を想定した訓練を1回ずつ実施した。(○) <u>『計画通り実施をし、目標を達成した』</u>
	(4) 教員の働き方改革に取り組む	ア、業務の電子化を進め、事務作業量を軽減するとともに、会議の精選、会議時間の短縮を行い、校務運営の効率化に取り組む イ、全校一斉退庁日や部活動方針の遵守等の取り組みを推進し、教職員の時間外在校等時間の縮減を図る	ア、「学校ストレスの総合リスク値」95以下を維持[84] イ、年間「時間外在校等時間」の平均 30時間以内を維持[29時間]	ア、「学校ストレスの総合リスク値」 82(◎) <u>『4年間連続で80台を示しており、働きやすい職場の実現が図れている』</u> イ、時間外在校等時間 29時間(○) <u>『校務の電子化や会議の縮減を図り、働き方改革が一層進み、目標を達成した』</u>